

資料1-2

令和6年度  
施政方針における主要な取り組み



みどりときめきたしかな未来 菊川市



菊川市  
KIKUGAWA

# 3 change hance hal lenge



## チェンジ!

サービス業並みのおもてなしにチェンジ



## チャンス!

地方への関心の高まりをチャンスと捉え



## チャレンジ!

失敗を恐れずチャレンジしていく



# 緩和策と適応策～進む人口減少・少子高齢化～

- 本格的な人口減少・少子高齢化社会を迎え、人口問題は避けて通ることのできない問題。
- 本市も令和2年から住民基本台帳人口が減少しており、2050年までの30年間で総人口の減少が進むことが予測されている。  
⇒2050年推計人口:41,233人  
※国立社会保障・人口問題研究所人口推計値より

転入者数や定住者数を増やすことなどで人口減少の**緩和**を図るとともに、少子高齢化に柔軟に**適応**していく持続的なまちづくりに挑戦していきます。



# 「人生100年時代」

高齢者から若者まで誰もが幸せを実感できる  
住みたいまち菊川市！！

令和6年度は、多くの人たちのたゆまぬ努力によって成長を積み重ねてきた本市のポテンシャルを最大限に引き出し、磨き上げ、未来へつなげていくため、『安全安心がひろがるまち』『未来を切り拓くまち』『幸せを生み出すまち』の3つの基本方針に基づき、市政運営に取り組んでまいります。

【基本方針1】 『安全安心がひろがるまち』

【基本方針2】 『未来を切り拓くまち』

【基本方針3】 『幸せを生み出すまち』

子どもが  
いきいき  
育つまち

健康で元  
気に暮ら  
せるまち

活気にあ  
ふれ地域  
の良さを伸  
ばすまち

快適な環  
境で安心  
して暮ら  
せるまち

まちづくりに  
市民と  
行政が共  
に取り組  
むまち

菊川市総合計画の5つの基本目標

# 令和6年度施政方針

## ◆ 市政運営の基本的な考え方と取組（P 6～26）

3つの基本方針を踏まえ、43の推進事業 を掲載しています。

### 【基本方針1】 『安全安心がひろがるまち』

- ＜1＞菊川市防災対策強靱化事業
- ＜2＞防災力を高めるまちづくりの推進
- ＜3＞通学路の安全確保

### 【基本方針2】 『未来を切り拓くまち』

- ＜1＞菊川駅周辺の賑わい創出
- ＜2＞こども・若者のまちづくりへの参画推進
- ＜3＞多文化共生社会の推進
- ＜4＞2050年ゼロカーボンシティの実現
- ＜5＞活力ある農業・茶業の推進
- ＜6＞商工業の支援と推進
- ＜7＞地域資源を活かした観光の推進
- ＜8＞学校教育の充実
- ＜9＞生涯学習の推進と歴史文化の周知・活用

### 【基本方針3】 『幸せを生み出すまち』

- ＜1＞健康増進及び地域包括ケアシステムの深化・推進
- ＜2＞子育て環境の整備
- ＜3＞地域医療環境の安定化

## ◆ 市制20周年記念事業（P41～43）

基本理念 「感謝とともに、未来への一歩」

- ＜1＞イベント事業（15事業）
- ＜2＞PR事業（10事業）



## ◆ 5つの基本目標への取り組み（P 27～40）

総合計画の5つの基本目標に沿って、本年度の主な取り組みについて掲載しています。

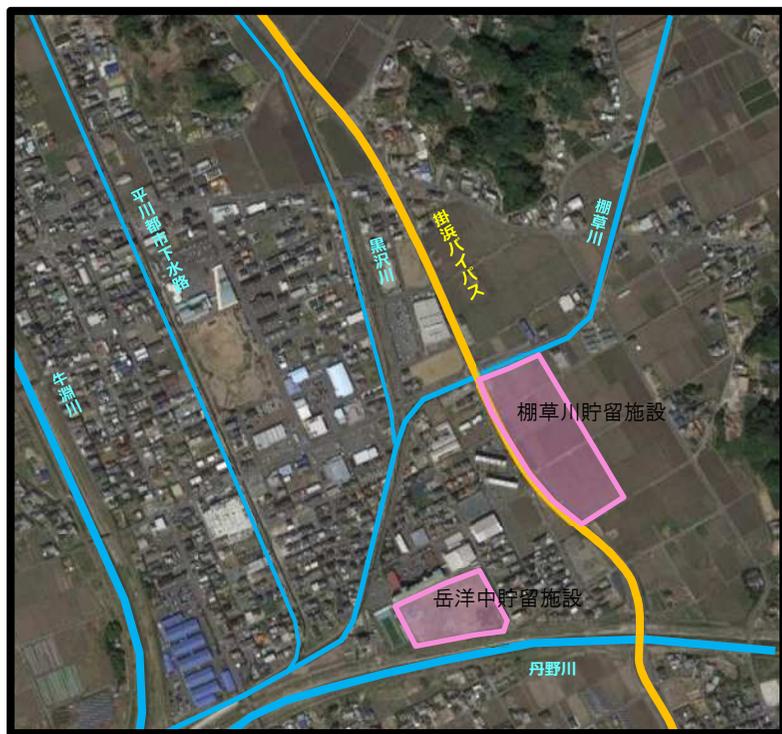
# 【基本方針1】安全安心がひろがるまち

## <1> 菊川市防災対策強靱化事業

### ◆ 菊川流域治水対策事業

《206,336千円》

浸水被害の軽減を図るため、岳洋中学校校庭へ校庭貯留施設整備及び棚草川隣接地の雨水貯留施設の詳細設計を実施します。



### ◆ 社会資本整備総合交付金事業

市道赤土高橋線 《316,819千円》

(R5 越明線許含む)

小笠地域市街地の南北交通の混雑解消と、緊急輸送道路として安全を確保するとともに、将来、掛川浜岡線のバイパスとしての役割を果たす約0.7kmの道路整備を行います。



# 【基本方針1】 安全安心がひろがるまち

## <1> 菊川市防災対策強靱化事業

### ◆ 市役所敷地一帯防災対策強靱化事業

《204,102千円》

堀之内体育館及び災害対策本部棟の実施設計や旧町部地区センターの解体・跡地整備、本庁舎の外壁剥落工事を進め、市役所敷地一帯の防災機能の強靱化を図ります。



※1月1日に発生した能登半島地震への支援を行った教訓から、大きな課題の一つとして、本市が被災した場合、ひと、ものの支援をどう受けるかの強化が挙げられます。この受援体制の強化については、全庁でスピード感を持って対応し、防災力の強化につなげていきます。

# 【基本方針1】 安全安心がひろがるまち

## <2> 防災力を高めるまちづくりの推進

### ◆ 情報伝達・避難体制対策事業 ≪5,705千円≫

令和5年度に試験導入した「SNSを活用した災害状況収集システム」を本格導入し、多方面から正確な情報を素早く収集できる体制づくりを構築し、防災DXを進めます。

### ◆ 消防団運営費 ≪29,045千円≫

地域防災を支える消防団員を確保するため、市民に向けて、消防団の必要性や活動内容などを知っていただくリーフレットを新たに作成し、自治会や企業への協力依頼を継続しつつ、消防団員の確保につなげていきます。

### ◆ 女性の防災啓発事業費 ≪161千円≫

毎年開催している防災ワークショップに災害ボランティアで活躍している女性ボランティアを講師に招くなど、女性向けの内容に変更し、1人でも多くの女性が防災に関心を持ってもらえるよう取り組みます。



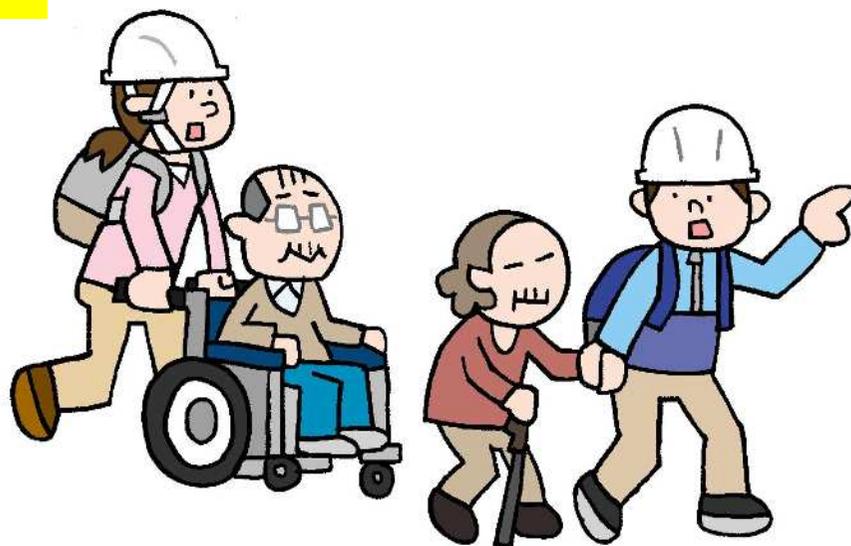
# 【基本方針1】 安全安心がひろがるまち

## <2> 防災力を高めるまちづくりの推進

### ◆ 避難行動要支援者支援費 ≪783千円≫

優先度が高い避難行動要支援者を対象に、地域の実情を踏まえながら計画作成に取り組んでいく必要があります。令和5年度に策定した「避難行動要支援者避難支援プラン」に基づき、令和6年度は個別避難計画モデル地区を選定し、地区内の避難行動要支援者の計画作成に取り組めます。

また、危険回避のために推奨しているハザードマップを用いたマイ・タイムラインの作成について、引き続き出前行政講座を実施することで、みんなで命を守る安全安心な地域づくりを推進します。



# 【基本方針1】 安全安心がひろがるまち

## <3> 通学路の安全確保

◆ 社会資本整備総合交付金事業青葉通り嶺田線  
    《64,899千円》

◆ 社会資本整備総合交付金事業市道井矯堂線  
    《59,323千円》（R5線越明許含む）

岳洋中学校の通学路になっている小松洗橋について、老朽化や幅員が3.5mと狭く車両のすれ違いができない、自転車歩行者の安全な通行が確保されていない、といった懸念を解消するため、橋の架け替えを含む都市計画道路青葉通り嶺田線及び市道井矯堂線の整備を引き続き進めます。



◆ 道路災害防止対策事業  
    《24,090千円》

六郷小学校の通学路である市道三堂上川原線については、法面を補強改修し、引き続き災害防止対策を実施します。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <1> 菊川駅周辺の賑わい創出

### ◆ 駅南北自由通路整備事業費

《3,106,875千円》（R5繰越明許含む）

駅南北自由通路は、令和7年度末の開通を目指し整備を推進していきます。

令和6年度は、自由通路の整備に併せて、南北の駅前広場の測量設計を行います。設計にあたっては、これまで市民の皆さまからいただいたご意見やご要望をもとに策定した駅周辺空間活用構想のアイデアを可能な限り取り入れていきます。本市の玄関口としてふさわしい駅、これまで以上に多くの人たちに愛される駅を目指していきます。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <1> 菊川駅周辺の賑わい創出

### ◆ 駅北整備事業費 《6,962千円》

利便性の高い住環境づくりを創出し、定住人口の増加へつなげるため、地権者や地元の皆さまで組織する駅北まちづくり研究会の支援を引き続き行います。皆さまとともに、令和6年度はさらに具体的な整備計画を考えていきます。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <2> こども・若者のまちづくりへの参画推進

### ◆ 協働のまちづくり推進費      《1,081千円》

「菊川市こども・わかもの参画宣言」に込められた“想い”を形にする取り組みを進めます。

こども・若者が主体的に実践する市の課題解決や魅力の向上などを目的とした地域づくり活動に対する支援制度として、新たに「こども・若者参画支援交付金」を創設します。

また、専門家や高校生などで組織する「こども・若者参画協議会」を新設し、こども・若者がまちづくりに参加・参画しやすいまちを実現するために必要な制度や仕組みなどについて協議していくほか、こども・若者が意見を出し合えるプラットフォームの構築などについて検討していきます。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <3> 多文化共生社会の推進

- ◆ 多文化共生地域づくり推進費  
    《683千円》
- ◆ 外国人受入環境推進費  
    《8,151千円》

令和4年3月に「第4次菊川市多文化共生推進行動指針」を策定し、「多様性を尊重し、誰もが安心していきいきと暮らせる多文化共生社会の実現」を基本理念に掲げ、コミュニケーション支援、生活支援、多文化共生の地域づくり、推進体制の整備の4つを施策の柱として事業を進めています。

外国人市民にも住みやすいまちになるよう、SNSなどを活用した情報発信や、外国人相談窓口の運営、通訳・翻訳対応、日本語教室や多文化共生講座などの充実を図るとともに、外国人市民の多いエリアである西部・中東遠圏域の各市町とも連携を図りながら推進していきます。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

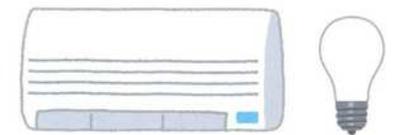
## <4> 2050年ゼロカーボンシティの実現

### ◆ 地球温暖化対策費

《22,285千円》

令和5年度新たに策定した地球温暖化対策実行計画(区域施策編)に基づき、市内全域の地球温暖化対策を推進するとともに、循環型社会の構築に取り組んでいきます。

家庭から出る二酸化炭素排出量の削減対策として、令和5年度、新たに実施した省エネ家電製品購入補助金事業を継続して実施し、地球温暖化対策の推進を図るとともに、市内経済の活性化を図っていきます。



省エネ家電製品購入補助金

### ◆ リサイクルマップの作成

民間事業者、行政を問わず、市内でリサイクル品を集めている場所が点在している現状を踏まえ、令和6年度はリサイクル品の収集場所を示したリサイクルマップを作成し、ホームページに公表することで、利用者の利便性を図るとともに、資源のリサイクルを促進していきます。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <5> 活力ある農業・茶業の推進

### ◆ 地域計画の策定及び推進

農業経営基盤強化促進法に基づき、令和6年度に策定する「地域計画」は、農業者やJA、農業委員会など関係者が課題や将来の方向性などを話し合い、地域農業の将来の姿を明確にした計画です。策定後は、関係者が一体となって計画の実現に取り組んでいきます。

### ◆ 茶生産経営体育成推進事業費

《4,195千円》

茶業の推進のため、令和6年度は「菊川茶」の海外に向けた出口戦略を進めていきます。令和5年度、佐川急便株式会社様と全国自治体初となる地場産品の販路拡大に向けた「海外輸出戦略」に関する連携協定を締結しました。この協定締結により、アリババ株式会社様が運営し、世界190以上の国や地域に会員のバイヤーがいるネット販売サイト内に作成する菊川茶の専用ページを通じて、海外バイヤーとの商談が可能となりました。併せて、茶生産者などが協定に基づく海外への商品サンプルの提供や海外イベントに出品する際の輸送経費の一部を補助する補助金を新たに創設し、効果的な出口戦略を講じることで新たな販路を海外に見出し、「菊川茶」の輸出を推進していきます。

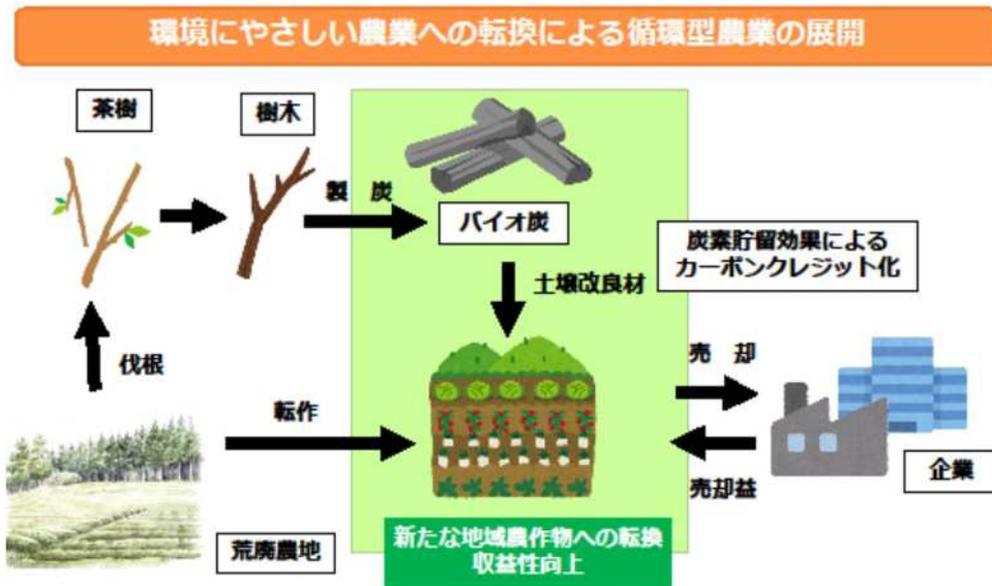


# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <5> 活力ある農業・茶業の推進

### ◆ 荒廃農地有効活用事業

樹木や剪定枝をバイオ炭として活用することで、CO2の排出削減に取り組むとともに、荒廃農地における新たな転換作物について研究を進めます。



### ◆ 茶業振興費

《13,897千円》

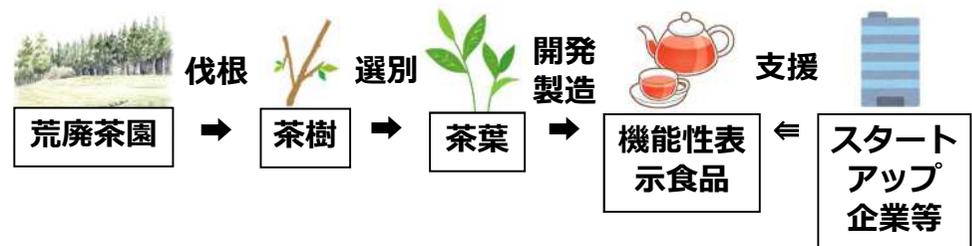
農林水産省や地理的表示協議会などによるGI関連フェアなど関連事業への参加により、「GI登録」と「世界農業遺産」の両方を日本国内で唯一持っている本市の強みを活かした宣伝PRを行っていきます。



荒廃農地の茶葉や凍霜害等により品質の落ちた茶葉を活用した商品開発に向けた実証実験を進め、茶生産者の新たな収入源の創出に向け取り組んでいきます。

### 茶産業の新たな収入源の創出

茶の新たな活用支援+茶の活用を軸とした新たなビジネス創出支援



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <6> 商工業の支援と推進

◆ 創業・事業承継等支援事業費

《18,824千円》

◆ 産業支援センター管理費

《7,066千円》

3月に開設する産業支援センターEnGAWAでは、事業者の事業承継、創業、経営強化に対する相談機能を設けるとともに併設するコワーキングスペースに集まる人やビジネスの「縁」をつなぎイノベーションを創出することで、商工業のみならず農業も含めた様々な事業者の課題解決を目指していきます。

また、新たにビジネスコンテストを開催し、全国の事業者が本市の地域資源を活用した市内にないような事業を提案するなかで地域課題の解決を目指すとともに、コンテストに参加した事業者が円滑に事業化を進められるよう連携を図っていきます。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <7> 地域資源を活かした観光の推進

### ◆ 火剣山キャンプ場管理費 ≪3,354千円≫

令和5年度にフリーサイトの整備など、施設の機能を充実した火剣山キャンプ場について、令和6年度から新たに指定管理者制度による管理運営を行います。予約方法の改善やキャンプ用品の販売など、これまでの市の運営ではできなかったサービス向上により、利用客の満足度向上を図っていくとともに、地元と連携、協力しながら、さらなる本市の魅力発信や交流人口の増加につなげていきます。



### ◆ 市観光協会連携事業費

≪23,366千円≫

さらなる市内の周遊促進と消費拡大に向けて、宿泊施設と連携したレンタサイクル事業の紹介や近隣でのイベント参加者への周知、レンタサイクルを活用した市内の魅力発信、市内のイベントと連動したキャンペーンなどを実施するとともに、令和5年度に完成した静岡県立大学の学生が考案した周遊マップも活用し、市内外の若い世代を中心としたレンタサイクルの利用促進を図っていきます。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <8> 学校教育の充実

### ◆ 小中一貫・連携教育推進費 ≪7,595千円≫

小中一貫教育「学びの庭」構想の推進として、令和6年度は学舎全てにコミュニティ・スクールを導入することで、保護者や地域の人たちが学校とともに主体的に学校運営に参画していただき、学校と地域がパートナーシップのもと一体となって特色ある学校づくりを進め周知していきます。

### ◆ 小学校教育振興総務費

≪370,798千円≫ (R5繰越明許含む)

GIGAスクール構想を推進するため、6小学校のネットワーク機器を更新することや、1人1台端末の更新を行います。



### ◆ 部活動の地域移行 ≪5,087千円≫

令和5年度に立ち上げた「未来の部活動在り方検討会」を軸とし、まずは休日の部活動から段階的な地域移行に向けて、生徒や保護者、地域の意見を聞きながら検討を進めていきます。

### ◆ 給食運営費 ≪377,720千円≫

物価高騰が続くことが予想されるため、令和6年度の給食費の額を改定したうえで、保護者負担の給食費増額分を全て減免し、物価高騰に対する子育て支援施策として保護者負担の軽減を図っていきます。



# 【基本方針2】未来を切り拓くまち

## <9> 生涯学習の推進と歴史文化の周知・活用

### ◆ 文化会館事業振興費 ≪2,000千円≫

芸術文化活動の情報発信や芸術文化団体の交流、幅広い年代の参加の見込める事業などを実施します。

### ◆ 文化会館整備事業 ≪77,091千円≫ (R5繰越明許含む)

文化会館「アエル」大ホール舞台吊物機構の改修・整備を進めていきます。



### ◆ 図書館総務費 ≪90,452千円≫

いつでも、どこでも本を読める機会を提供するため、新たに電子図書館システムを導入し、電子書籍を貸出すサービスを開始します。

### ◆ 文化財保護費 ≪4,425千円≫

横地氏城館遺跡の保存・活用を図るため、山城地区における園路整備を進めていきます。また、国指定文化財の応声教院山門については保存修理や耐震補強を進めている管理者への支援を行ってまいります。さらに、菊川市の歴史をより多くの市民に知ってもらい、楽しく郷土を学んでいただくために菊川市歴史検定を実施します。



# 【基本方針3】 幸せを生み出すまち

## <1> 健康増進及び地域包括ケアシステムの深化・推進

### ◆ 健康増進事業費《3,707千円》

健康寿命を延ばすために、若い年代から運動や食の大切さについて啓発するとともに、「茶ちゃっと！出張健康チェック」で地域や企業などに出向き、身近な場所で健康チェックができる機会を設けていきます。



### ◆ 特定健診・特定保健指導(国民健康保険特別会計) 《2,002千円》

自身の体の状態を正しく評価するための体組成計を購入し、特定保健指導や各種教室、健康チェックなどにおいて幅広く市民の皆さまに使っていただくことで、体の状態を理解し、健康管理などへ関心を持ってもらう取り組みを進めていきます。

国民健康保険の特定健診・特定保健指導については、平日昼間に時間がとれない指導対象者が、休日、夜間もドラッグストア店舗で指導が受けられるよう、令和5年度から業務を民間委託したところであります。令和6年度も、総合検診と同日に特定保健指導を利用できる体制充実のため民間委託内容を拡充するなど、対象者の利便性向上を図っていきます。



# 【基本方針3】 幸せを生み出すまち

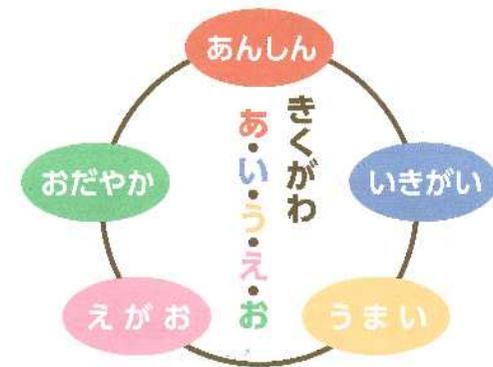
## <1> 健康増進及び地域包括ケアシステムの深化・推進

### ◆ 在宅医療・介護連携推進事業(介護保険特別会計) 《4,316千円》

市内の医療機関や介護保険事業所などが連携し、切れ目のない在宅医療・在宅介護を提供する体制の構築や、病気や突然の事故に見舞われた時に、どのような医療やケアを望んでいるかについて、前もって自ら考え、大切な人や家族と話し合っておくツールとして作成した菊川市版人生会議ノート「私のこれからノート」について、出前行政講座の開催などにより、普及を図っていきます。

### ◆ きくがわ健康フェスタ 《460千円》

市制20周年記念事業として開催する「きくがわ健康フェスタ」では、健康増進に係る協定先の企業との連携による健康チェックや相談に加え、健康な生活を維持するために地場野菜を活用して「食」を通じた健康づくりの普及と啓発を図ります。また、講演会では、講師として菊川病院の医師だけでなく、特別講師も招き、菊川病院と市民が交流をとおして、健やかではつらつとした人生を送るきっかけとしていきます。



菊川市が目指す姿
「心安らかに 最期までその人らしく 過ごすことができる」
これを達成するためのキーワード
<b>きくがわ あ・い・う・え・お</b>
あ あんしん 「どんなときも安心して安全に過ごせるといいね」
い いきがい 「やりたいことができ生き甲斐を感じられるといいね」
う うまい 「いつまでもうまいごはんが食べられるといいね」
え えがお 「みんなの笑顔(しあわせのわ)が広がるといいね」
お おだやか 「身体も心も快適に穏やかな日々が送れるといいね」

# 【基本方針3】 幸せを生み出すまち

## <2> 子育て環境の整備

### ◆ 地域子ども・子育て支援事業費

《10,329千円》

市町村に策定が努力義務化された「こども計画」については、本市においても、「子ども・子育て支援事業計画」など、こども施策に関する計画を一体化したのものとして、令和6年度策定します。



### ◆ こども家庭センターの設置

市町村への設置が努力義務化された「こども家庭センター」を令和6年度に設置し、全ての妊産婦・子育て世帯・子どもへの一体的に切れ目のない相談支援を行います。

菊川市

こども家庭センター

令和6年4月から

子育て応援課内に開設

子ども、妊産婦、そのご家庭の相談窓口です

おおむね0歳から18歳までの子ども、妊産婦、その家庭が抱えるあらゆる心配ごとに、対応する窓口です。

【主な業務内容】

総合相談、子育て世帯訪問支援事業、母子健康手帳発行など

【従事職員】

保健師、家庭児童相談員、保育士 他

☎ 0537-35-0955

こども相談係

・医療機関  
・保育施設  
・教育委員会  
・市役所各課  
など

つなぐ

連携

・地域子育て  
相談機関  
・教育相談室  
など

一体的に支援

こども保健係

☎ 0537-37-1136

妊娠中から6歳までのお子さん、その保護者の方を対象に、妊娠・子育てに関する相談・健診や支援を行っています。

【主な業務内容】

子どもの健診や相談・予防接種  
各種教室（離乳食教室・親子教室）  
出産・子育て応援ギフト など

【従事職員】

保健師・管理栄養士・保育士

こども発達係

☎ 0537-37-1137

0～18歳までの発達支援に関する相談や教室を行っています。

【主な業務内容】

発達に関する相談、一次療育教室  
など

【従事職員】

保健師  
保育士 他

私たち専門職  
が寄り添って  
支援します



菊川市子育て応援課（プラザけやき内）

# 【基本方針3】 幸せを生み出すまち

## <2> 子育て環境の整備

### ◆ こども相談事業費(児童福祉) 《11,103千円》

家事や育児に不安や負担を抱える子育て世帯やヤングケアラーなどがある家庭へ訪問支援を行う「子育て世帯訪問支援事業」を実施します。

### ◆ こども相談事業費(母子保健) 《5,509千円》

外国人の子育て家庭へ出産・子育てに関する情報や相談を多言語で行う「翻訳タブレット」を導入します。  
また、父親が主体的に育児参加することができるよう子育てを学ぶ機会を提供する「父親支援教室」を新たに実施していきます。



### ◆ 幼保施設整備事業費 《782,354千円》

小笠北幼稚園については、令和7年4月の認定こども園開園に向け、建築工事を進めています。開園する新園では、未就園の子育て家庭を対象とした遊び場の提供、相談支援体制を展開していくほか、地域における子育て支援施設のネットワークとしての役割を担うよう、開設準備を進めています。



# 【基本方針3】 幸せを生み出すまち

## <3> 地域医療環境の安定化

◆ 病院費 ※病院事業会計（一般会計繰出金）  
    《1,037,505千円》

新たに策定した「公立病院経営強化プラン」では、一般病床の削減のほか、繰出基準に基づいた原則基準内繰入、地方公営企業法の全部適用への移行検討、患者数の確保・診療単価の向上及び経費の削減などによる令和9年度の経常収支黒字化の実現の4つのポイントを踏まえた取組を推進・実現していくことで、病院経営の効率化を図り、職員一人ひとりが自らの意思で経営に参画し、持続可能かつ、地域ニーズに柔軟に対応できる病院を目指していきます。



# ◆5つの基本目標

## 基本目標



子どもがいきいき育つまち

子育て  
教育



健康で元気に暮らせるまち

保健  
福祉  
医療  
社会教育



活気にあふれ地域の良さを  
伸ばすまち

産業



快適な環境で  
安心して暮らせるまち

防災  
環境  
社会資本整備



まちづくりに市民と行政が  
共に取り組むまち

コミュニティ  
自助  
共助  
公助

**◆幼児施設連携強化費 《1,742千円》**

4市1町の地方自治体が連携して、保育現場で働く職員を対象に、保育の質の向上と処遇改善を図るための保育士等キャリアアップ研修を実施します。

**◆児童手当給付費 《897,982千円》**

令和6年10月から支給対象児童の拡充と多子世帯の増額（国の制度に伴い、所得制限を撤廃（不支給・特例給付を廃止））すると共に支給期間を高校生年代まで延長します。

**◆予防接種費(子育て応援課) 《141,115千円》**

定期予防接種対象の時期にHPVワクチン9価を自費で接種した方に費用の一部を助成するとともに、任意接種であるおたふくかぜワクチンを自費で接種した方に費用の一部を助成します。また、引き続き定期予防接種を小笠医師会に委託して実施します。

**◆発達支援事業費 《6,299千円》**

発達に関する相談の対象について、これまでは就学前までとしていましたが、18歳までの子どもに拡充し、相談を受けた内容により、関係機関に繋げたり、連携をとって対応します。

**◆国庫補助小学校施設整備事業費 《29,890千円》(R5繰越明許)**

横地小学校屋内運動場における照明取替工事（LED化）及びトイレ洋式化工事を実施します。

**◆事務局総務費(学校教育課) 《49,527千円》**

教育情報セキュリティを高めるため、校務用端末に監視システムを導入します。

**◆国庫補助中学校施設整備事業費【 《55,163千円》(R5繰越明許)**

岳洋中学校屋内運動場、菊川西中学校屋内運動場における照明取替工事（LED化）及びトイレ洋式化工事を実施します。

**◆読書活動推進費 《882千円》**

子ども読書活動を推進するため、子どもたちに読書の大切さ、楽しさを伝えるイベントを開催します。





## 基本目標 2

### 健康で元気に暮らせるまち

保健・福祉・医療・社会教育

#### ◆プラザけやき管理費 《32,978千円》

プラザけやきの安全・安心な施設利用のため、施設の維持管理を実施します。

#### ◆生活困窮者自立支援費 《11,910千円》

生活困窮者が、生活困窮者自立支援事業（自立相談支援事業、家計相談支援事業、就労準備支援事業、ひきこもり支援推進事業）を活用し、生活保護に頼らずとも自立した日常生活や社会生活ができるように事業を実施します。

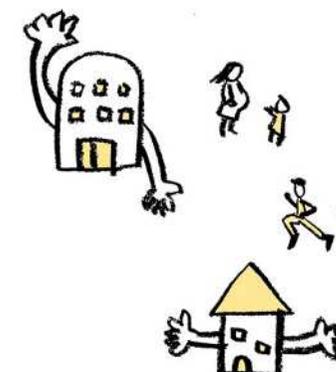
#### ◆総合検診費 《42,625千円》

現在40～70歳の10歳刻みの人を対象として実施している歯周病検診について、健康増進法の対象者拡充を受け、新たに「20歳」と「30歳」を加え、生涯を通じた歯・口腔の健康の保持・増進を図ります。

#### ◆健康マイレージ事業費 《292千円》

多くの世代に健康づくりの取り組みを広げることを目的に、健康づくりのきっかけとなるよう、ポイントを貯めて特典が受けられる楽しさを感じる健康マイレージ事業を実施します。

また、より多くの人々が健康づくりに取り組めるよう、実施方法を検討します。





## 基本目標 **2**

### 健康で元気に暮らせるまち

保健・福祉・医療・社会教育

#### ◆生涯学習まちづくり費 《1,591千円》

各種講座の開設や自主学習グループの支援、情報発信などを通じ市民に学習機会を提供し、生涯学習の推進を図ります。

#### ◆文化・顕彰活動支援費 《371千円》

郷土ゆかりの偉人関口隆吉を顕彰するとともに、地域の文化財の継承活動を行っている団体を支援します。また、芸術文化大会において全国大会等への出場者・出場団体には奨励金により活動を支援します。

#### ◆市文化財保存管理整備事業費 《17,907千円》

市内の埋蔵文化財包蔵地内の開発に伴う試掘確認調査を行います。また、発掘調査に伴う整備作業や遺物の測量を行い、報告書を発行します。

#### ◆公民館管理費 《34,530千円》

社会やライフスタイルの変化を踏まえ、市民へ多種多様な学習と体験の機会を提供するため、中央公民館の適切な管理・運営と計画的な改修・整備に取り組みます。

**◆保健体育総務費 《5,659千円》**

スポーツ事業に関する諮問機関として、スポーツ推進審議会を開催するとともに、スポーツ講座の開催、全国や県大会等へのスポーツ大会出場選手または団体に対し、奨励金の支給及び表敬訪問を実施します。

また、中学校部活動の地域移行に向けた検討会を実施します。

**◆生涯スポーツ推進費 《2,167千円》**

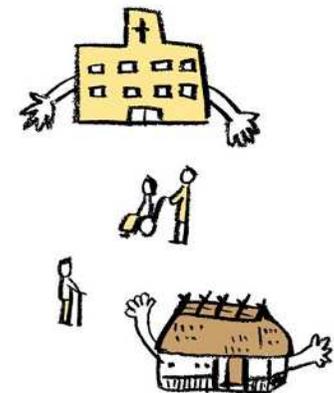
親子スポーツ教室やシニア健康体操教室の開催のほか、スポーツ委員の活動を通じて生涯スポーツの推進に取り組みます。

**◆スポーツ大会推進費 《3,948千円》**

誰もがスポーツに触れ合う機会を創出するため、市民健康駅伝競走大会、スポーツレクリエーションフェスティバル、静岡県市町対抗駅伝大会、各種スポーツ大会を開催し、幅広い年齢層を対象に、スポーツを通して多世代間の交流を促進に取り組みます。

**◆公園体育施設管理費 《12,183千円》**

指定管理者による屋内外体育施設及び市立体育館や付帯する都市公園等の整備・管理を行うとともに、丹野グラウンドや和田公園のバックネットを修繕し、安全、安心な公共スポーツ活動の場の提供に取り組みます。





# 基本目標 **3**

## 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

産業

### ◆農業振興地域管理費 《6,371千円》

食料の安定供給及び農用地を確保するとともに地域農業の継続と活性化を図るため、農業振興地域整備計画の見直しに係る調査を行います。

### ◆地域特産物推進事業 《845千円》

地域特産物として推進する作物について、生産者の所得向上に繋がるよう、ブランド化を推進します。

### ◆複合経営推進事業 《549千円》

水稻生産者の高付加価値作物との複合経営に向けた取り組みに対し支援を行います。

### ◆担い手確保育成推進費 《5,581千円》

経営感覚に優れた担い手の確保と育成を図るため、新規就農者育成総合対策事業費補助金や経営継承・発展等支援事業費補助金により、新規就農者など新たな農業の担い手を支援します。





## 基本目標 **3**

# 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

産業

### ◆農業活動推進費 《5,433千円》

地域農業の活性化を図るため、農業振興に取り組む個人や団体等に対し、研修の実施や活動を支援します。

### ◆土地改良補助事業費 《39,846千円》

農業生産基盤の向上を図るため、自治会や受益者団体の農業用施設の整備や保全活動などの取り組みを支援します。

### ◆就労支援事業費 《1,164千円》

就労機会の拡大を図るため、就労支援や障害者の職業生活の自立を支援することで、多様な人材の地域就労を促し、個々の能力を地域で有効に発揮することができる環境づくりの推進を図ります。

### ◆ふるさと納税事業費 《82,214千円》

市の魅力や地元特産品のPR活動を実施し、地域経済の活性化を図ります。



## 基本目標 **3**

### 活気にあふれ地域の良さを伸ばすまち

産業

#### ◆企業立地推進事業費 《12,450千円》

首都圏及び中京圏からの企業誘致を推進するとともに、新規進出企業及び既存企業の規模拡大に対応するための新たな工業用候補地の検討を行います。

#### ◆観光情報発信事業費 《4,063千円》

イベント及び観光情報を市内外に情報発信することで菊川市の認知度を向上させ、市内への誘客を図ります。

#### ◆小菊荘管理費 《9,791千円》

菊川市営保養センター「小菊荘」及び蓮池公園を適正に維持管理するとともに、令和7年度からの指定管理者による運営再開に向けて、指定管理者を公募します。

#### ◆交流促進事業費 《1,415千円》

本市の認知度を向上させ交流促進を図るため、大都市圏での情報発信や、市内在訪者へのおもてなし等の交流促進事業を行い、交流人口の増加に努めます。

# 基本目標4

## 快適な環境で安心して暮らせるまち

防災・環境・社会資本整備

### ◆防犯対策推進費 《20,094千円》

自治会が管理する蛍光管防犯灯をLED防犯灯への付替え工事を実施するほか、市営駐輪場防犯カメラの維持管理等を実施することにより、地域の良好な治安維持を図ります。

### ◆公共交通推進費 《11,096千円》

地域における需要に応じた住民の生活に必要な旅客運送の確保や利便の増進を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現に必要な事項を協議する地域公共交通会議を開催します。また、令和7年度に策定期間が満了する地域公共交通計画を新たに策定する必要があるため、アンケート調査や策定準備を進めます。

### ◆社会資本整備総合交付金事業道路橋梁長寿命化 《190,250千円》(R5繰越明許含む)

市が管理する橋梁について、定期点検を98橋、補修工事を4橋実施し、長寿命化を進めるとともに、市内道路ネットワークの維持と道路利用者及び第三者被害の防止を図ります。

### ◆社会資本整備総合交付金事業市道大須賀金谷線 《113,884千円》(R5繰越明許含む)

社会資本整備総合交付金を活用し、全体整備延長約1.35kmの区間内で道路築造工事を引き続き実施します。

### ◆市単独河川改修整備事業費 《33,545千円》

浸水被害の防止を図るため、土水路の改良や通水断面の確保、水路勾配の改良等の工事を実施します。



**◆都市計画推進費 《6,383千円》**

都市計画法等の適正な運用を図り、調和の取れた土地利用の誘導を図ります。また、都市計画道路西方高橋線西方工区の整備に向けた検討を行うため、交通量調査を実施します。

**◆救急講習等事業費 《223千円》**

応急手当に関する正しい知識と技術の習得のため、救急講習を実施するとともに、新たに親子で参加できる入門的な救急講習会を開催し、これらと広報活動を連動させて幅広い年代層へ応急手当を普及していきます。

**◆消防施設等管理費 《12,112千円》**

建築から40年が経過した小笠北分団嶺田蔵置所の設計業務を実施します。

消防団蔵置所の長寿命化に向け維持管理を行うとともに、整備方針について検討します。

**◆消防自動車等整備事業費 《24,853千円》**

各種災害への出動に対し、確実な災害対応を行うため、消防団ポンプ自動車の更新を実施します。

**◆貯水槽整備事業費 《32,107千円》**

大規模地震発生時にも水利の確保が可能となる耐震性貯水槽を、加茂地内及び下平川地内に整備します。

**◆広域消防通信整備事業 《211,071千円》**

指令業務における正確かつ迅速性の向上を図ることを目的として、中東遠消防指令センターに係る指令システムの全面更新を実施します。

**◆防災施設等整備事業費 《32,438千円》**

小笠地区同報無線戸別受信機用の無線放送局の更新工事を行い、避難指示等の災害情報を的確に伝えていきます。

**◆自主防災組織事業費 《2,499千円》**

防災指導員の装備品の整備を進め、自主防災組織を育成し、地域防災力の向上を図ります。また、災害発生時における共助を推進するため、地区防災連絡会に補助金を交付します。

**◆水道建設改良事業※水道事業会計(建設改良費) 《482,162千円》**

水道水の安定的な供給を維持するため、老朽化した水道基幹管路の更新・耐震化や水道施設の耐震補強並びに令和4年度減断水事故を踏まえた管路耐震化・更新計画の見直しに基づき、管路等の更新整備を推進します。また、経営戦略の見直し改定を実施していきます。

**◆公共下水道整備事業※下水道事業会計(管路建設改良費) 《573,168千円》**

第4期公共下水道事業認可区域(429ha)の整備を令和8年度までに完了するため、本年度は14haの範囲で公共下水道を整備し、生活排水対策を推進することにより、河川菊川の水質向上に取り組みます。

**◆庁内情報システム運用費 《269,323千円》**

自治体情報システムの標準化・共通化への対応業務のほか、庁内情報システムを活用し、効率的な行政運営ができるよう、システムの安定稼働と利活用を推進します。

**◆行政経営推進費 《151千円》**

行政経営方針2022に基づき、本市が保有する限られた資源を活用した、行政サービスを継続的かつ安定的に提供するため、行政経営の推進に取り組みます。

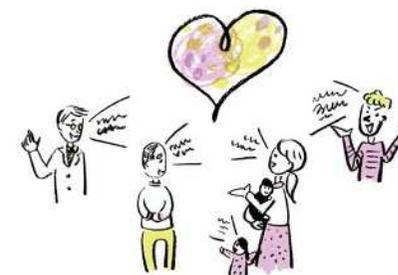
**◆ICT施策推進費 《4,944千円》**

電子申請システム等の活用により、市民の利便性向上を図るとともに、新たなICTについて研究、活用していきます。

**◆広報広聴費 《16,026千円》**

市民の皆さんが知りたいこと、暮らしに必要な情報を、広報紙、ホームページ、SNS、テレビのデータ放送等、あらゆる媒体を組み合わせ、確実に分かりやすくお届けします。

また、市政に対するご意見・ご提案を市政懇談会をはじめ、メールやご意見箱などを通じてお寄せいただき、今後のまちづくりにつなげていきます。



**◆男女共同参画推進費****《379千円》**

令和4年度から令和8年度までの期間で策定した第4次菊川市男女共同参画プランについて、取り組み内容や指標の中間見直しを行います。

**◆政策推進費****《8,882千円》**

第2次菊川市総合計画及び第2期菊川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗管理を行い、着実な進捗を図ります。また、令和8年度からの第3次総合計画の策定、国の新たな施策などの調査研究を行います。

**◆コミュニティ助成事業費****《19,400千円》**

自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用し、自治会公会堂等の新築費用や自治会のコミュニティ活動に必要な備品購入の支援を行います。

**◆市民協働センター活動推進事業費****《17,520千円》**

令和5年度から令和7年度の市民協働センター運營業務委託をNPO法人アートコラールきくがわと契約し、多様な主体をつなぐコーディネート、協働の担い手の支援、協働への参画機会の拡充、庁舎東館多目的エリアの運用と賑わい創出の促進を図ります。



## 菊川市 市制20周年記念事業

### 基本理念 「感謝とともに、未来への一歩」

菊川市は、令和7年1月17日に市制施行20周年を迎えます。まち全体がひとつとなって20周年記念をお祝いするため、令和6年度を市制20周年記念事業の実施期間として、さまざまな記念事業に取り組んでいきます。

#### ■イベント事業(15事業)

(単位:千円)

No.	事業名	実施時期	予算額	担当課
1	茶畑の中心で愛を叫ぶ(菊川チャバチュー)	4月	676	営業戦略課
2	市制20周年記念 生活環境フェスタ	7月	149	環境推進課、 水道課、下水道課
3	『郷土愛』～菊川市の歩み、魅力再発見～	9月～	—	学校教育課
4	市制20周年記念 菊川市敬老会	9月	8,010	長寿介護課
5	テレビ全国放送公開番組の公開収録	10月	802	営業戦略課
6	市制20周年記念 第20回菊川市文化祭	11月	1,200	社会教育課
7	市制20周年記念 わくわく消防体験プログラム	11月	22	予防課

(単位:千円)

No.	事業名	実施時期	予算額	担当課
8	市制20周年記念 菊川産業祭2024	11月	6,700	商工観光課
9	菊川市歴史検定	11月	611	社会教育課
10	市制20周年記念 菊川市 はたちの集い	1月	1,458	社会教育課
11	市制20周年記念 学校給食	1月	1,466	教育総務課
12	電子図書館オープン事業 “いつでもどこでも”本を読める新しい図書館が 始まります！	2月	10,520	図書館
13	市制20周年記念 雪まつり ～小谷村からの雪のプレゼント～	2月	1,050	地域支援課
14-1	きくがわ健康フェスタ※	2月	460	健康づくり課、 農林課、茶業振興課
14-2	市民交流プログラム 「菊川病院健康コンパス講演会」※	2月	627	経営企画課
15	市制20周年記念セレモニー	3月	2,316	営業戦略課

※…14-1と14-2は合同で開催予定

予算計 36,067千円  
(うち20周年特別メニュー分 6,070千円)



## ■PR事業(10事業)

(単位:千円)

No.	事業名	実施時期	予算額	担当課
1	市制20周年記念 動画コンテスト	募集4月～ 決定1月	372	営業戦略課
2	市制20周年記念 カーステッカー※1	5月	—	営業戦略課
3	10年後へのメッセージ～2024	5月	4	企画政策課
4	防災川柳の募集	募集6月～ 掲示11月	11	危機管理課
5	20周年記念デザインの原付ご当地標識 (ナンバープレート)の作成	6月	561	市民課
6	子どもたちの絵画展示 ～20年後のわたし～	募集7月～	—	こども政策課
7	「菊川市20年のあゆみ」 冊子・動画・展示パネルの制作	9月	1,100	営業戦略課
8	広報菊川20周年記念特集※2	1月	10,230	営業戦略課
9	メディア等を活用したプロモーション事業	通年	—	営業戦略課
10	市制20周年啓発物品の制作※1	通年	—	営業戦略課

※1…令和5年度予算で制作、掲出・配布は通年

※2…1月号以外も通年で記事を掲載(予算額は年間の額)

予算計 12,278千円  
(うち20周年特別メニュー分 1,817千円)



感謝



菊川市

